

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	12	職員の退職者が続き、派遣業者等を通じての人員補充等により、安定的な職員体制の構築と共通の介護方針の理解難しい状況となった。	事業所の直接雇用により、職員体制の充実と介護理念等の共通認識を図り、より良い職場環境を構築していく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理職員体制の再構築</li> <li>・ハローワーク、求人広告等による職員募集</li> <li>・従業員による紹介等</li> </ul>	3ヶ月
2	15	職員不足により職員体制にゆとりを持つことができず、その為施設内での勉強会や施設外研修への参加ができなくなった。	職員体制の充実を図り、外部への研修参加や内部での学習機会を作り、職員個々のスキルアップへと繋げていく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部での研修受講</li> <li>・認知症対応型サービス事業管理者研修</li> <li>・認知症介護実践者研修</li> <li>施設内部での勉強会の計画実施</li> </ul>	10ヶ月
3	7	職員不足により職員体制にゆとりを持つことができず、その為施設内での勉強会等を計画実施できなくなり、虐待防止等についての知識を深める機会がなくなった。	研修会への参加や施設内での学習機会の構築により、虐待防止についての知識を深める。	まずは、リーダー的職員を外部研修に参加し、そこで学んできたことを施設内勉強会の場で全職員へフィードバックし、知識を深めていく。	12ヶ月
4	2	これも職員不足により、以前は積極的に参加し交流を深めてきていた地域内の幼稚園や自治会との繋がりが減少してきた。	自治会や地域の幼稚園等との交流機会を持ち、地域の一員としてお互いが助け合える関係構築に努める。	運営推進委員の方と協議しながら、まずは職員による地域行事への参加で繋がりを再構築し、利用者を含め地域行事へ積極的に参加できる環境を作る。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。